



熱帯スイレン ‘ドウベン’ ～暑い夏を涼しく過ごそう！！～

熱帯スイレン＝大型というイメージがありますが、‘ドウベン’は小さな器ならミニサイズに、大きな器ならのびのびと、育てる器の大きさに合わせて自分のサイズを自由に変えられるという特徴を持っています。花色は白色ベースで花先が薄紫色、中心の鮮やかな黄色とのコントラストが涼しげで、暑さに強く、夏から秋まで次から次へと花を咲かせてくれます。

スイレンは熱帯から温帯にかけて広く分布し、約 40 種すべてが水生の多年草です。日本には「ヒツジグサ」のみが自生しています。通常の温帯スイレンの花は水面に浮かぶように咲きますが、熱帯スイレンは茎を水面より上に伸ばして咲きます。花色は温帯スイレンにはない青や紫色があります。ひとつの花が朝に開き、午後 3 時頃になると花を閉じ、翌日また開くということを 3 日間、姿を変えながら続けます。



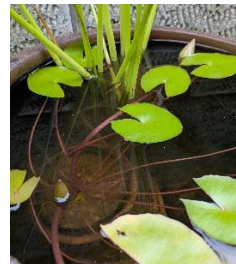
(1 日目)



(2 日目)



(3 日目)



(4 日目)

私は 4 号鉢に赤玉土で植え、それを直径 30cm 程の器に入れ、水深を 10cm くらいに調節しながら屋外の良く日の当たる場所に置いています。あまり深いと株元に日が当たらず花付きが悪くなります。水は減った分だけつぎ足します。

多くのスイレンは株分けで増やしますが、ドウベンは葉の中心に子株を作るムカゴ種なので、種をまいて増やすよりもムカゴで増やした方が圧倒的に早く簡単です。増やし方は、葉の中心にある綿のようなムカゴがついた葉を切り離し、裏返しにして水に浮かべておきます。夏の間なら 3 週間程で苗になり、すぐに植え付ければ年内には花を楽しむことが出来ます。



葉の中心にできたムカゴ

冬は地上部が枯れて球根の状態です。寒さに弱いので、室内で冬越しさせれば毎年楽しめます。気温が下がり葉が枯れ始めたら、春まで温度変化の少ない室内(10 度前後)で管理します。

【球根の冬越し方法】

- ①球根を掘り上げない方法：器などに水を張り鉢ごと沈めたままにする。
- ②球根を掘り上げる方法：葉や根を取り球根を綺麗に洗い、湿らせたフェルトや水ゴケ、水で練った赤玉土で球根を包みビニール袋などで密閉する。乾いていないか、カビが生えていないか時々確認する。
- ③ジャムの空き瓶やタッパー型容器などに水とムカゴから育った球根を入れ管理する。子株の場合は 15 度を保てる室内があれば窓辺へ置き、難しい場合は①や②の方法で管理する。

小型で玄関先でも育てられるドウベン、暑い夏を涼しく癒してくれるおすすめの植物です。ぜひ挑戦してみてください。甘い香りがし、切り花としても楽しめます。 (文・写真 濱田 タ子)

8月の花とみどりの講習会

夏休み子ども企画【豊島公園で生物と植物観察】

日時：8月8日(土) 10時から12時まで
場所：花とみどりの相談所
講師：花とみどりの相談所相談員
定員：小学1年生以上20人 ※保護者同伴可
申込：8月1日(土) 9時15分から 先着順 電話可
内容：豊島公園で生き物と植物の観察をします。



親子企画【多肉植物の寄せ植え作り】

日時：8月22日(土) 10時から12時まで
場所：花とみどりの相談所
講師：豊中緑化リーダー会
定員：小学3年生以上の子どもと保護者12組
費用：800円
申込：8月15日(土) 9時15分から 先着順 電話可



画像はイメージです

相談所の見本園では、
ブルーベリーやトマト
などが実っています。
是非、見に来てください！



夏の花が咲いています。
お気軽にお越しください！！

花とみどりの相談

＜相談時間＞

火曜日・木曜日の13時から16時30分まで
電話による相談も行っています。

《 8月の休所日 》毎週の日曜・月曜日と11日(火)です。

花とみどりに関する相談を受け付けて
しています。お気軽にどうぞ！



豊中市 花とみどりの相談所

〒561-0804 豊中市曽根南町1丁目4番1号（豊島公園内）阪急宝塚線 曽根駅南 約500m

TEL 06-6863-8439

FAX 06-6863-3638